

「にいがた空艸舎(くうそうしゃ)」は、新潟に住む私たちの「日常」をみんなで共有したい、という思いから始まったイベントです。

古町に程近い南浜通りの一角にある「北方文化博物館・新潟分館」は、津八が晩年を過ごした明治期の建物です。現在は八や良寛の書を展示する資料館として公開されていますが、今後の維持に際しては新たな活用方法を模索しなければならぬ時期にきています。私たちはこの場所を借りて、「にいがた空艸舎」を今後1年1回の会期で続けていこうと考えています。

私たちがこの建物の中で思い描いていることは、「すでにある」ものや「根付いている」ことに改めて耳を澄まし、その中で豊かに組み立てていくこと。この場所での出会いを通じて、身近な人づてに、1つさりげないものごとが、愛しいと思える瞬間へ変わっていくきっかけとなるような場を、私たちの暮らす新潟から、大事に育てていけたらと思っています。

第1回となる今回は、地場産業の作り手と使い手の間に立ち、技術と深い信頼関係に裏付けされた新しい「ジャパンブランド」を新潟から発信している女性2人組「F/style(エフスタイル)」の紹介です。彼女たちが実践してきた、地方という地域性を活かし、現場の人達と密に関わりながら「今あるものを活かす」もの作りは、形あるものだけでなく、多くのことを教えてくれます。商品の企画から、検品、発送、そして

販路の開拓まで「貫して行う姿勢で、「もの」と人をつなげる彼女たちの仕事を、今年の8月に出版された書籍『エフスタイルの仕事』と共に、にいがた空艸舎でじっくりご紹介いたします。

F/styleのプロフィール

五十嵐恵美 1978年、星野若菜 1979年、ともに新潟生まれ。2001年に東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科卒業後、同年新潟市にてデザイン事務所「F/style」を開設。伝統産業が次世代のライフスタイルに溶け込むようなデザインと、高い品質の商品を提供している。北は青森から南は沖縄までの全国各地のショップへの卸と、各種展示会を開催。海外ではロサンゼルスと韓国の2店舗で展開。2009年夏に、4回目となる銀座松屋での個展も開かれる。



anonima.st

「アノニマ・スタジオ」とは

「英語だとアノニマス。誰が作ったかわからない作品はアノニマスと紹介されます。作者不詳と言うことはみんなの共有だとも考えられるし、生きている人間がやっていること全てがアノニマとも言える。ごく普通の人のやっていることを本にした、それを生活者に橋渡ししたいという思いを込めています。スタジオというのは工房。マーケティングから売れる企画を考えるのではなく、手を動かす中から生まれるものを形

にしていきたいです。」

(アノニマ・スタジオ主宰 / 丹治史彦さん)



エフスタイルの仕事

アノニマ・スタジオは、「ごはんくらし」をテーマに、料理本や生活書を中心とした書籍の出版から、暮らしに根ざしたイベントや展示なども行っている出版社です。今回出版された『エフスタイルの仕事』の制作作業の中で、このアノニマ・スタジオといくつかの共通項を感じました。作者とは、人づての紹介が多く「これを誰かに伝えたい」と強く思ったものは自然発生的にエネルギーが高まり、出会いが本として形になっていくそうです。私たちのモノ作りの出発点も、作り手との出会いから生まれる湧き上がってくるような伝達者としての思いが根本にあります。人の熱を受けることで、何か突き動かされるものがある。このような地道な姿勢や熱の連動が、未来へつながっていく仕事のヒントのような気がしています。

そんな本作りを、3年の月日をかきね、アノニマ・スタジオとエフスタイルは「ごとうん」やってきました。イベントでは書籍が生まれるまでの仕事の一部や、アノニマ・スタジオ主宰の丹治さんとFの作り手たちを招き、それぞれのモノ作りの現場の話しを、皆さんと楽しみながらできたらと思っています。(F/style)

にいがた空艸舎

Niigata kuu-so-sha

「エフスタイルの仕事」

F/styleの地場産業の取り組み
F/styleの製品が生まれるまで
Fへの質問コーナー
取り扱い製品の販売/他

「アノニマ・スタジオミニブックフェア」

「エフスタイルの仕事」を企画・出版したアノニマ・スタジオが出張ブックフェアを開催。アノニマ1階「F/style」の中川ちえさんによる出張珈琲(両日11時~13時)もあります。

「F×つくり手トークショー」

F/style×つくり手たち×丹治史彦さん(アノニマ・スタジオ主宰)による座談会
12日(日) 14時~15時 山形・穂積繊維工業(絨毯) 他
13日(祝・月) 14時~15時 五泉くつ下工房 他
※予約制(各30名) 空艸舎ホームページより予約ください。

「新潟身のまわりレポート」

あなたのオススメする新潟って? シャンルを問わず掲示します。

Niigata Kuu-so-sha vol. I

12 sun 13 mon October 2008
Contents

「みちへの茶屋」

Mitohi no Chaya
が中心となり、お米や地元食材をテーマにした展示販売をおこないます

「伝書鳩の手紙」

新潟の今と昔の生活を結ぶ、手づくり小冊子「伝書鳩の手紙」の既刊を展示します。久方振りの新刊もあります。



「にいがた道艸ナビ」

空艸舎の制作した新潟のまち歩きMAPを販売します。この売上金は、にいがた空艸舎の開催資金に充てられます。

「A-ZAZの新潟紹介」

独自の視点で収集した、新潟にまつわる書籍資料を紹介いたします。
AZAZ-NIIGATA <http://azaz-niigata.blogspot.com/>